



AKITA

〔12月〕

県内経済

概況

県内経済は、厳しい状況が続いているが、緩やかに持ち直している

電子部品、機械金属の生産は前年を上回ったほか、木材にも持ち直しの動きがみられる。建設は、住宅着工で弱い動きが続いているが、公共工事は前年を上回った。個人消費は持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。

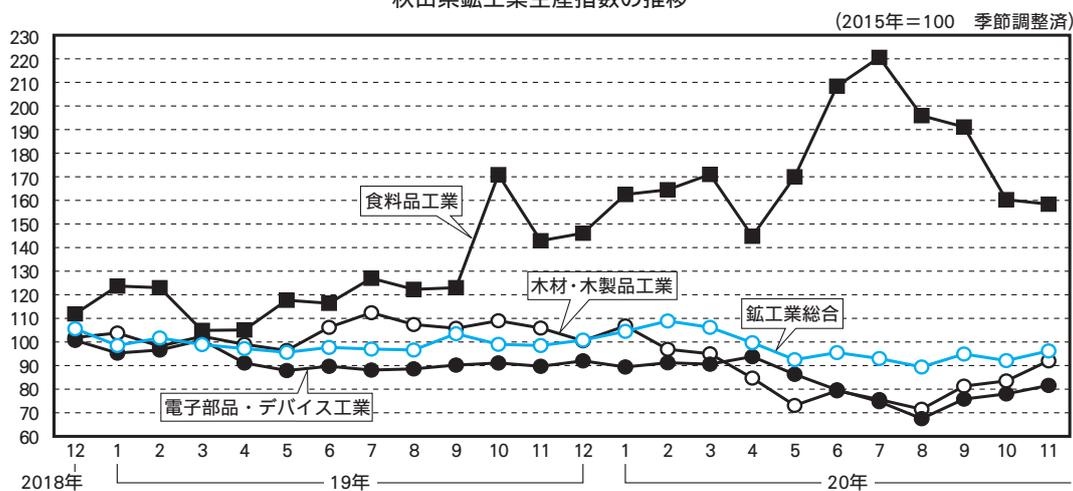
産業別の動向では、電子部品の生産額は、次世代通信規格「5G」関連製品の需要が堅調であるほか、車載向けも好調を維持し、2か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、輸送機械が海外、国内向けともに回復し、11か月ぶりに前年を上回った。木材の生産量は、製材品が低迷しているものの、普通合板(11月)は前年比マイナス幅が縮小しており、持ち直しの動きがみられる。公共工事請負額は、2か月連続で前年を上回り、年度累計でも前年を上回って推移している。地元大手(12社)の建設受注額は、官公庁、民間工事ともに増加し、

2か月ぶりに前年を上回った。住宅着工は、弱い動きが続いている。個人消費は、小売店販売額(11月)が2か月連続で前年を上回り、新車乗用車販売台数も3か月連続で前年を上回るなど全体として持ち直しの動きとなっている。

有効求人倍率は前月比0.02ポイント上昇の1.27倍となった。新規求人数は前年比2.5%減となり、20か月連続で減少した。事業主都合離職者数は前年比5.9%増となり、9か月連続で前年を上回った。

企業倒産件数は2件、負債総額は3,600万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

電子部品

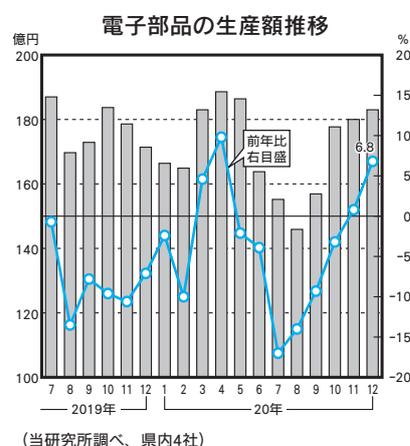
生産額、2か月連続で前年比増加

12月の生産額は前年比6.8%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

スマートフォンや基地局向け、タブレット端末などの「5G」関連の需要が堅調なことに加え、車載向けも、海外向け、国内向けとも好調で、総体の生産額は増加傾向にある。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルは堅調に推移しているものの、半導体素子、産業向け液晶パネルは減少が続いている。

なお、10-12月期は前年同期比1.3%増、2020年通期では同3.4%減となった。



機械金属

生産額、11か月ぶりに前年比増加

12月の生産額は前年比5.2%増となり、11か月ぶりに前年実績を上回った。

ウエイトの高い輸送機械が、海外向け、国内向けとも好調で、総体の水準を引き上げている。

その他民需関連では、建機部品、製鋼品は減少に歯止めがかかっておらず、金型は一進一退の動きが続いている。

公共工事関連では、水道部品は堅調に推移しているものの、橋梁・鉄骨は大幅減が続いている。

なお、10-12月期は前年同期比0.5%増、2020年通期では同17.7%減となった。



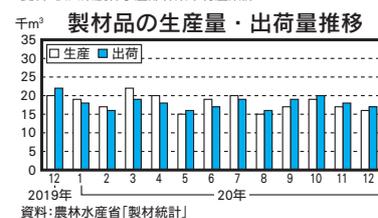
木材業

普通合板に持ち直しの動き

全国的に、新設住宅着工戸数の減少と新型コロナウイルスの感染拡大が続き、製材品は低迷しているが、普通合板には持ち直しの動きが窺える。県内でも同様の動きが見て取れる。

11月の普通合板は、生産量が前年比9.9%減と9か月連続で減少し、出荷量も同10.1%減と14か月連続で前年を下回ったが、いずれもマイナス幅は前月より大幅に縮小した。在庫量は同14.1%減と4か月連続で前年比マイナスとなった。

12月の製材品は、生産量が前年比20.0%減と9か月連続で前年を下回り、出荷量も同22.7%減と11か月連続で減少した。在庫量は同5.1%増と18か月連続で前年を上回っている。



酒造業

出荷量、2か月連続で前年比減少

12月の清酒出荷量は、前年比6.2%減となった。コロナ禍で大都市を中心に飲食店の営業時間短縮や外出の自粛が広がったため業務用需要が縮小し、2か月連続で前年を下回った。出荷先別では、県内向けは同12.9%減、県外向けも同2.6%減となった。県外の主な出荷先別では、北海道が同7.9%減、東北5県は同2.5%減、東京も同11.1%減となった。

2020年の年間清酒出荷量は、前年比9.1%減となった。普通酒が同9.0%減と引き続き減少したほか、特定名称酒も同9.3%減と10年ぶりに減少に転じたため、減少幅は前年の同5.0%減と比べて拡大した。



資料：秋田県酒造組合

建設業

公共工事 国と市町村が増加し、2か月連続で前年比増加

12月の公共工事請負金額は、県等が減少したものの国と市町村が増加し、前年比111.9%増と2か月連続で前年を上回った。年度累計実績は前年同期比6.9%増となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の12月の新規受注額は、前年比125.7%増の580百万円と2か月ぶりに前年を上回った。民間工事は、小売業の店舗新築にかかる大口受注があり、同70.7%増と前年実績を上回った。官公庁工事も、前年同月が低水準であったこともあり、同359.2%増と伸びた。ただし、年度累計の受注実績では、前年同期比31.7%減と依然前年を大幅に下回っている。

公共工事前払金保証実績

(単位: 件、百万円、%)

区分	12月	前年比	4~12月	前年同期比
件数	83	12.2	2,327	△1.3
請負金額	9,806	111.9	152,329	6.9

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位: 百万円、%)

区分	12月	前年比	4~12月	前年同期比
官公庁	225	359.2	13,201	△24.0
民間	355	70.7	4,190	△48.1
合計	580	125.7	17,391	△31.7

(当研究所調べ、県内12社)

金融

預金、貸出金とも前年比増加率が拡大

12月末の県内銀行の預金は、前月末比751億円増加し、前年比でも9.2%の増加となった。貸出金は、前月末比248億円増加し、前年比でも8.6%の増加となった。資金需要が高まっているほか、一部企業で手元資金を厚くする動きがみられ、預金、貸出金とも前月に比べ伸び率は拡大した。

12月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は2件(前年比横這い)、負債総額は3,600万円(同64.0%減)となった。2020年の年間倒産件数は44件(前年比5件増)で、1971年の集計開始以来最少となった前年に次いで2番目に少ない件数となった。負債総額は47億400万円(同28.3%減)となった。



資料：秋田県銀行協会

住宅着工

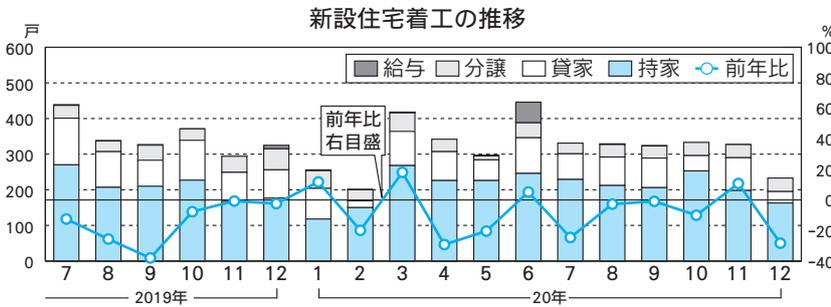
着工戸数、2か月ぶりに前年比減少

12月の県内新設住宅着工戸数は、233戸（前年比92戸減、28.3%減）であった。主力の持家のほか、貸家、分譲住宅、給与住宅のすべてが減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

利用関係別では、持家が163戸（前年比14戸減）、貸家が32戸（同47戸減）、分譲住宅38戸（同21戸減）、給与住宅0戸（同10戸減）となった。

2020年通年の県内新設住宅着工戸数は3,838戸（前年比371戸減、8.8%減）となり、2年連続で前年を下回った。

利用関係別では、持家(2,495戸)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や、前年の消費税率引上げにともなう駆け込み需要の反動から、3年ぶりに前年を下回った。貸家(842戸)は4年連続、分譲住宅(432戸)は2年連続で、各々前年を下回った。



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向 (単位：戸、%)

区分	2020年12月	前年比	20年1~12月	前年比
県北	39	△31.6	805	△7.9
県央	135	△25.0	2,113	△4.8
県南	59	△33.0	920	△17.5
合計	233	△28.3	3,838	△8.8

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

全体として持ち直しの動き

11月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比3.4%増となり2か月連続で前年を上回った。

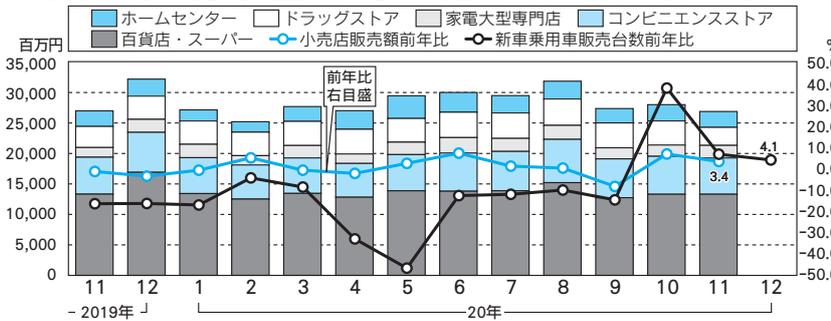
内訳をみると、コンビニエンスストア（同1.7%減）、百貨店・スーパー（同0.1%減）で減少したものの、家電大型専門店（同29.8%増）、ドラッグストア（同14.3%増）、ホームセンター（同1.9%増）でいずれも

前年を上回った。

12月の新車乗用車販売台数は、前年比4.1%増となり、3か月連続で前年を上回った。

内訳をみると、登録車は同5.1%減と前年を下回ったものの、軽乗用車は同19.2%増と3か月連続で前年を上回った。

小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

12月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,218	4.1
登録車	1,255	△5.1
普通車	588	7.3
小型車	599	△12.3
輸入車	68	△25.3
軽乗用車	963	19.2

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標（前年比）(単位：%)

区分	9月	10月	11月
①消費者物価指数	0.1	△0.9	△1.7
②勤労者名目賃金	3.3	1.0	6.0

資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、3か月ぶりに前年比増加

12月の生産額は、前年比1.9%増となった。一般衣料は減少が続いているものの、医療・衛生関連商品が下支えし、3か月ぶりに前年を上回った。

受注は、百貨店等小売店の売上減少にともないメーカーの商品在庫が高止まりしていることから、6か月連続で前年を下回った。



雇用

有効求人倍率、前月比0.02ポイント上昇の1.27倍

12月の有効求人倍率は、前月比0.02ポイント上昇の1.27倍となった。常用の内訳では、一般は前月比0.07ポイント上昇の1.30倍、パートは同0.03ポイント上昇の1.21倍となった。求人が求職を上回って推移しているが、新型コロナウイルス感染症の影響から改善の動きが弱まっている。

新規求人数は前年比2.5%減となり、20か月連続で前年を下回った。産業別にみると、製造業は同10.3%減となった。「電子部品・デバイス・電子回路」、「繊維」で増加したものの、「木材・木製品」、「電気機械器具」などで二桁の減少率となった。非製造業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

区 分		2020年11月	前年比	12月	前年比
新	規 求 人 計	7,648	△1.7	8,131	△2.5
製	造 業	629	△15.9	712	△10.3
主	食 料 品	103	△18.3	75	△27.9
	織 維	123	△15.2	168	2.4
	木 材 ・ 木 製 品	20	△35.5	30	△40.0
	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路	103	35.5	116	50.6
	電 気 機 械 器 具	28	△41.7	33	△31.3
	情 報 通 信 機 械	5	△79.2	4	△20.0
	非 製 造 業	7,019	△0.2	7,419	△1.7
	建 設	974	9.2	1,100	7.3
	情 報 通 信	44	41.9	65	18.2
	運 輸 ， 郵 便	337	△11.1	278	△7.6
内	卸 売 ， 小 売	1,332	7.8	1,114	0.5
	宿 泊 ， 飲 食 サ ー ビ ス	739	△27.3	1,189	21.7
	生 活 関 連 サ ー ビ ス ， 娯 楽	232	△14.4	316	△20.6
	医 療 ， 福 祉	1,565	2.4	1,751	△2.9
	サ ー ビ ス	954	29.4	973	23.2
	新 規 求 職 者 数	3,377	△8.4	3,473	△1.6
	有 効 求 職 者 数	16,412	7.7	16,044	9.1

(単位: 人、%)

資料: 秋田労働局職業安定課
(注) 臨時・季節を含む

業は同1.7%減となった。「サービス」、「宿泊、飲食サービス」などで増加したものの、「生活関連サービス、娯楽」、「運輸、郵便」などで減少した。

新規求職者数は前年比1.6%減と、15か月連続で前年を下回った。

事業主都合離職者数は前年比5.9%増と、9か月連続で前年を上回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県央で増加したものの、県北、県南で減少した。有効求人倍率は県北が最も高く1.43倍、県央が1.28倍、県南が1.11倍となった。

有効求人倍率および事業主都合離職者数

区 分		2020年9月	10月	11月	12月
有 効 求 人 倍 率	常 用	1.23	1.23	1.23	1.30
	パ ー ト タ イ ム	1.18	1.17	1.18	1.21
	全 数 (季 調 済)	1.23	1.21	1.25	1.27
事業主都合離職者数		230	273	173	162
前 年 比		21.7	20.3	6.1	5.9

(単位: 倍、人、%)

12月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比		前月比	
県 北	1,586	△ 8.1	1.43	0.03
県 央	3,954	14.9	1.28	0.06
県 南	1,578	△ 28.1	1.11	0.05
合 計	7,118	△ 3.3	1.27	0.05

(注) 臨時・季節を除く